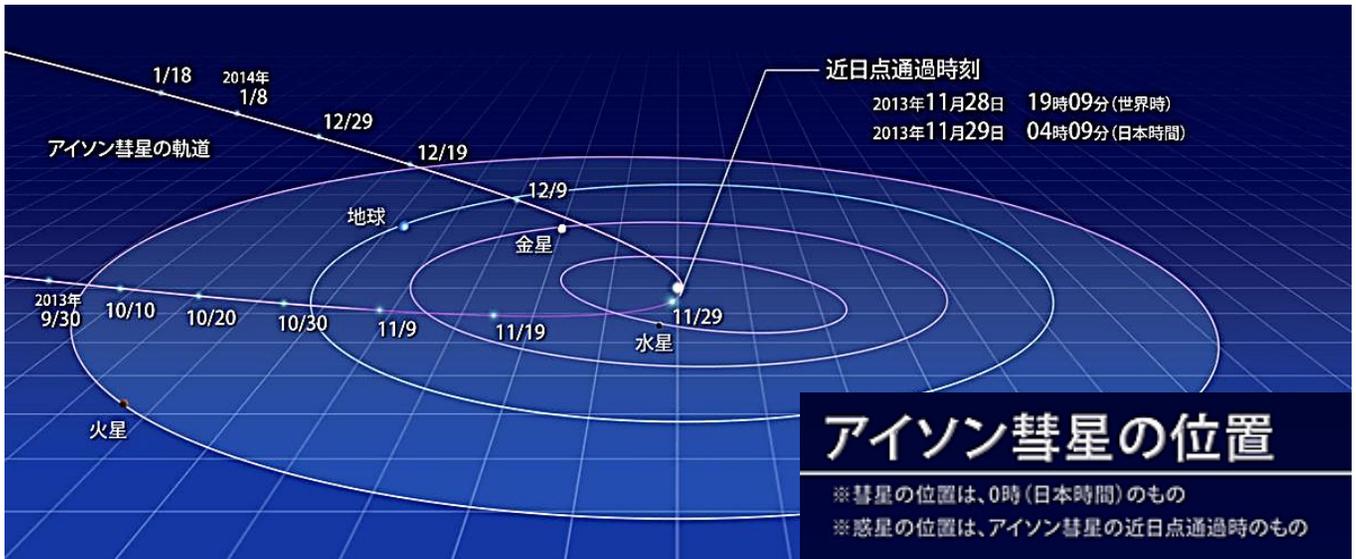


苗代っ子 家庭学習たより

苗代小学校 No.9
平成25年11月14日(木)
発行 研究推進委員会

アイソン彗星、近づく！



国立天文台 アイソン彗星 <http://www.nao.ac.jp/astro/sky/2013/ison.ht>

アイソン彗星とは？

尾がのびた形で「ほうきぼし」とも呼ばれる彗星。太陽の引力がはたらく太陽系のなかまですが、惑星よりも遠く、小さいのが特徴です。

76年毎に太陽に近づく「ハレー彗星」とは異なり、「アイソン彗星」が太陽に近づくのは今回だけです。昨年9月に発見されました。

彗星のほとんどは水(氷)で、表面に砂がついています。太陽に近づくと、その熱でとけて水蒸気が出ていくので、彗星はボーっと光って見えません。さらに太陽に近づくと水蒸気や表面の砂が太陽風でとばされ、長い尾のように見えます。



アイソン彗星の見え方



彗星は太陽に近づくほど太陽の光を反射し明るくなります。また、地球に近いほど大きく見えて明るくなります。よって、太陽に近づく11月20日前後と遠ざかる12月初めが観察にむいています。太陽に最接近する11月29日の前後1週間ほどは、太陽に近すぎて観察できません。

明るさの予想はむずかしく、明るくて金星ほど、暗いと肉眼でやっと見える程度のようなので。双眼鏡などを使って観察した方がよさそうです。ただし、絶対に太陽の光を見ないように注意してください。

アイソン彗星の観察



観察の機会は2回あります。まず、太陽に近づく11月20日前後。明け方、東の低い空に、尾をひいたアイソン彗星が肉眼でも見られるかも！ただし、かなり低い位置なので、山が高く見えない田んぼの真ん中で、夜明け直前に見ることをお勧めします。

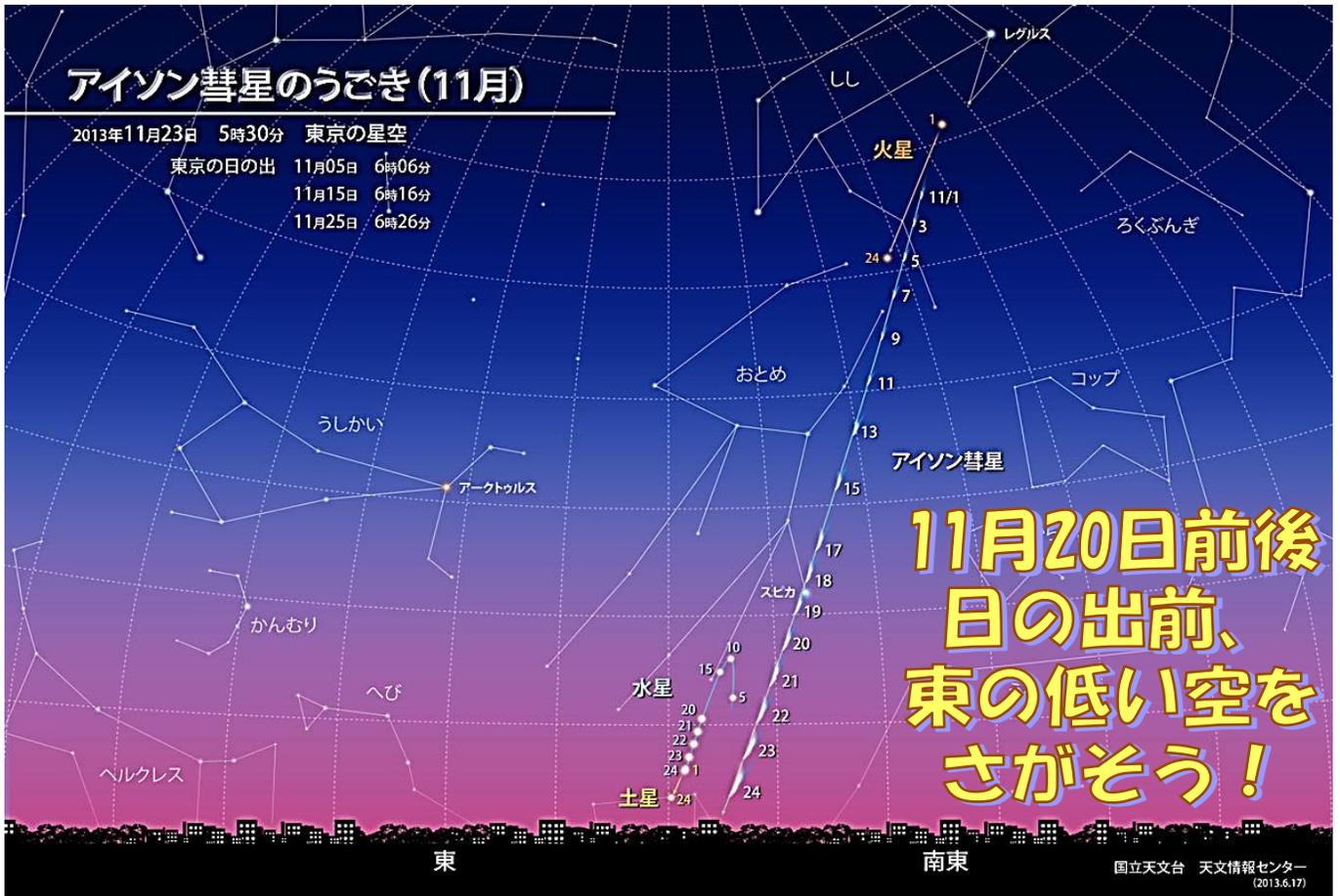
次は太陽から遠ざかる12月7日前後。これも、明け方、東の低い空です。ただし、太陽に接近した時、分解してしまうかもしれないので、見られないかもしれません。

11月20日前後と12月7日前後、夜明け前、東の低い空に「ほうき星」をさがそう！

アイソン彗星のうごき(11月)

2013年11月23日 5時30分 東京の星空

東京の日の出
 11月05日 6時06分
 11月15日 6時16分
 11月25日 6時26分



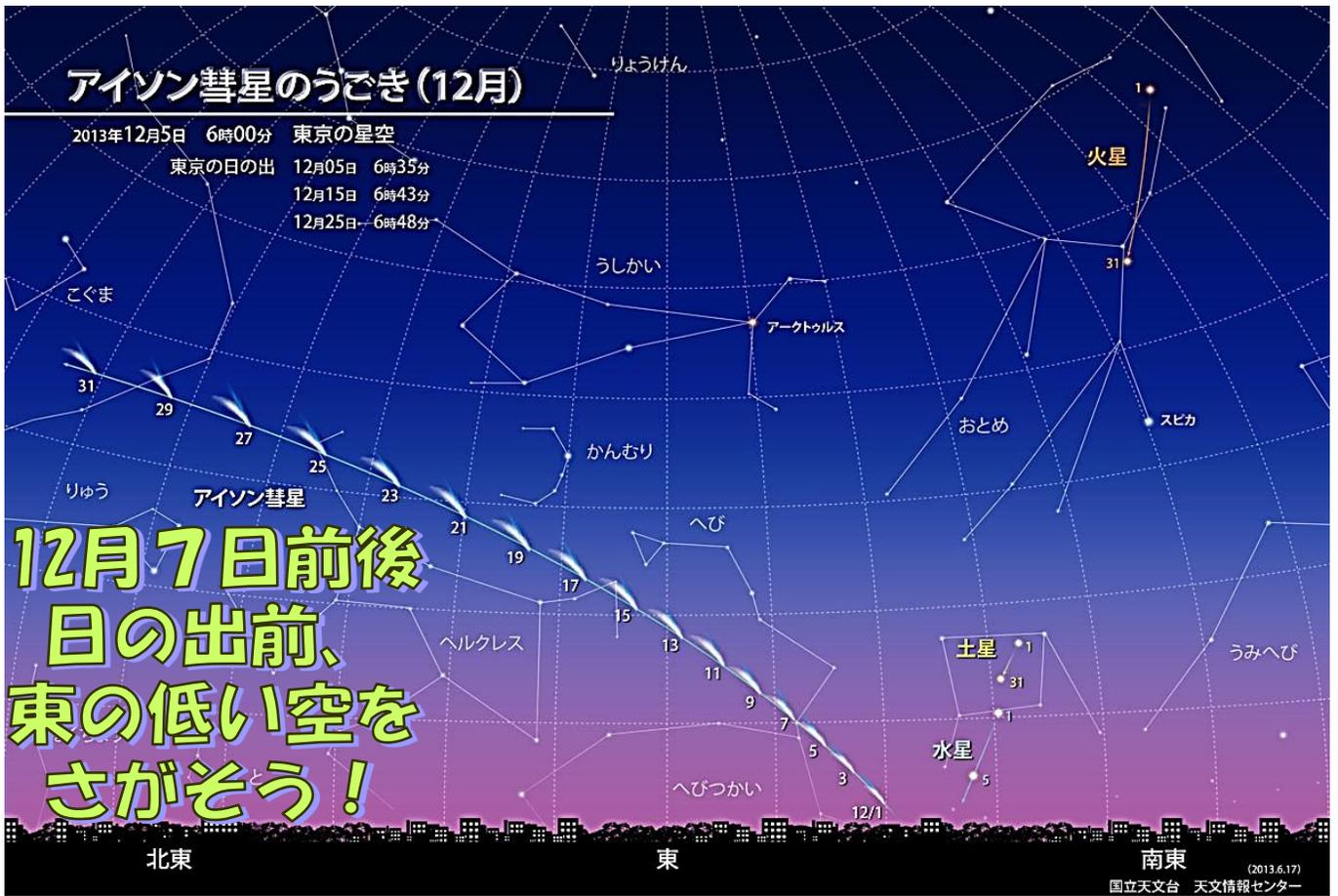
**11月20日前後
 日の出前、
 東の低い空を
 さがそう!**

国立天文台 天文情報センター (2013.6.17)

アイソン彗星のうごき(12月)

2013年12月5日 6時00分 東京の星空

東京の日の出
 12月05日 6時35分
 12月15日 6時43分
 12月25日 6時48分



**12月7日前後
 日の出前、
 東の低い空を
 さがそう!**

国立天文台 天文情報センター (2013.6.17)

